

日本原子力学会 原子力発電部会

次期軽水炉の技術要件検討WG フェーズ2 第2回会合

議事録

- 日時 : 2022年6月2日(木) 13:30~ 15:50
- 場所 : Webex 会議 (東京大学工学部8号館2階226大会議室)
- 出席者 : 山口(\*)<sub>主査</sub>(原安協)、山本<sub>幹事</sub>(名大)、菅原(\*)<sub>幹事</sub>(関電)、有田(\*)<sub>幹事</sub>(MHI)、伊阪(\*)<sub>委員</sub>(関電)、糸井<sub>委員</sub>(東大)、宇井(\*)<sub>委員</sub>(電中研)、浦田(\*)<sub>委員</sub>(NEL)、黒崎<sub>委員</sub>(京大)、越塚(\*)<sub>委員</sub>(東大)、齊藤<sub>委員</sub>(東大)、佐治(\*)<sub>委員</sub>(MHI NS エンジ)、柴本<sub>委員</sub>(JAEA)、菅原<sub>委員</sub>(関大)、鈴木(\*)<sub>委員</sub>(東電)、竹田(\*)<sub>委員</sub>(阪大)、成川(\*)<sub>委員</sub>(東大)、東(\*)<sub>委員</sub>(WH)、藤木(\*)<sub>委員</sub>(東芝 ESS)、芳原<sub>委員</sub>(近大)、松浦(\*)<sub>委員</sub>(日立 GE)、三牧(\*)<sub>委員</sub>(MHI)、三好<sub>委員</sub>(原電)、村上(\*)<sub>委員</sub>(東大)、山路<sub>委員</sub>(早大)
- オブザーバー: 皆川、中谷(エネ庁)、川島(大林組)、小林(鹿島)、鈴木(大成)、下間(IHI)、千々松(安藤ハザマ)、中居(日揮)、濱谷(MELCO)、田口(\*)、竹地、岩田(関電)、水田、高山、倉本(\*) (MHI)
- (\*)・・・東大会議室参加者 (敬称略)

配布資料:

- 資料2-1: 次期炉WG(フェーズ2)第1回会合 議事録(詳細版+公開版)
- 資料2-2: 次期炉WG(フェーズ2) コメント処理表
- 資料2-3: WGで議論する論点の抽出(資料1-2の改訂版)
- 資料2-4: 次期軽水炉の重要コンセプトに関する議論  
「次期軽水炉の性能目標・深層防護の実装の考え方」

議事:

- 出席者確認及び新WG委員の挨拶  
WG委員全員の出席が確認された後、杉山委員に代わって新しくWG委員になられた柴本委員から自己紹介があった。
- 第1回議事録確認及びコメント対応について  
幹事より、資料2-1にて前回WGの議事録が確認された後、資料2-2にて前回WGで頂いたコメントへの対応内容について説明があった。コメントNo.1-1~1-4に対する対応内容についてはWG委員にご了解頂いたが、コメントNo.1-5について、委員より、『「将来の拡張性に備え余地を残す」とは規制のバックフィットだけでなく、炉出力増強などプラントの運用拡大の議論もあるので、そういう観点でも報告書に記載すること』とのコメントを頂いた。また、資料2-3にて、コメントを反映した第1回WG資料の改訂版を説明し、ご了解を頂いた。

3. 次期軽水炉の重要コンセプトに関する議論「次期軽水炉の性能目標・深層防護の実装の考え方」について

資料 2-4 にて、幹事より次期軽水炉の重要コンセプトに関する議論「次期軽水炉の性能目標・深層防護の実装の考え方」について説明があった。WG 委員から多くのコメントを頂いたが、特に、次期軽水炉の設計目標として用いる性能目標の設定の考え方について再整理することとした。

4. その他

委員の都合を確認し、第 3 回 WG の日程は以下の通り設定した。

・ 2022 年 9 月 16 日 (金) 13:00~15:00@東大工学部 3 号館 4 階 423 会議室

以 上